

開館から20年

都城市総合文化ホール

◎問い合わせ 地域振興課
総合文化ホール
☎23-2132
☎23-7140



総合文化ホール（通称：MJ）は、
全ての人に開かれた施設として開館
し、10月22日に「はたち」の節目を
迎えました。

気軽に文化芸術に触れる

今年度は、開館20周年を彩るさま
ざまな事業を企画しています。その
締めくくりとして、来年3月には市
民の皆さんと一緒に作り上げるオリ
ジナルミュージカル「がぐれとかく
れおん」を上演します。子どもから
大人まで幅広い世代の32人が稽古に
励んでいます。都城愛にあふれるす
てきな作品に期待ください。

文化を育み未来につなぐ
MJは、表現者のひたむきな「情
熱」と客席に満ちる「感動」が響き
合い、かけがえのない瞬間が生まれ
る場所です。これからも、一人一人
の挑戦に寄り添い、豊かな文化を育
みながら、皆さんと共に歩み続けま
す。

※詳しくは、MJホーム
ページを確認ください



開館20周年を記念して、ロ
ゴマークを制作。「20」の数字
に音符のモチーフを交え、キャッ
チコピーと合わせて表現してい
ます。施設内には、このロゴマ
ークをあしらったバナーやフラ
ッグを来年3月末まで掲げて
いて、「はたち」の節目を皆さん
と一緒に祝いできれば幸いです。

また、MJ主催の公演では来
館記念グッズも用意しています。
この機会にぜひ来館ください。

郷土の伝統を後世へ

民俗芸能は心のふるさと

市では、貴重な文化遺産である「民俗芸能」を
絶やすことなく、後世へ守り伝えていくため、さ
まざまな取り組みを行っています。

◎問い合わせ 地域振興課 ☎23-2132

民俗芸能を次世代へ

市内には、歴史や風土の中で育ま
れ、大切に守り伝えられてきた民俗
芸能が数多く残されていますが、後
継者不足や関心の低下などで存続が
危ぶまれています。一度途絶えてし
まうと復活させることは困難なた
め、次世代に伝えていく取り組みが
重要です。

本市では、小・中学校が設置する
民俗芸能伝承研究会の活動や地域の
民俗芸能保存会の活動などをさま
ざまな形で支援しています。市民の皆
さんの理解と協力をお願いします。

都城民俗芸能祭（無料）

市内5保存会による大井手棒踊り
や中原太郎踊りのほか、若い世代へ
の承継として、沖水小学校6年生の
児童が太郎坊奴踊を披露します。

●日時 12月6日(日) 13時～
●場所 総合文化ホール



●その他 10月31日(土)から1階座席
指定券を地域振興課と総合文化ホ
ールで配布。詳しくは、市
ホームページを確認くだ
さい。



フォトコンテストに投票しま
せんか？

民俗芸能をテーマにした作品を展
示します。ぜひ投票ください。

【総合文化ホール】

11月5日(木)～15日(日)

【市立図書館】

11月16日(月)～29日(日)

民俗芸能の動画を公開中

市ホームページで視聴できます。
また、市立図書館や地域振興課では、
団体向けにDVDの貸し
出しを行っています。



11月9日～15日は

秋の全国火災予防運動

秋から春にかけて雨が少なく空気が乾燥しやすい
時期となります。火の元には十分気を付けましょう。

◎問い合わせ 消防局予防課

☎22-8884

◎火災の問い合わせ（自動音声）

☎22-8500



都城管内の主な火災原因

令和7年、都城管内では79件の火
災が発生し、1人の死者と8人の負
傷者が出ました。

出火原因別では、たき火が10年連
続で第1位となっていて、16件の出
火がありました。

屋外で火を使うときは届出が必
要です

火災と間違えるような「煙」や
「火」が出る行為を行う場合は、3
日前までに管轄消防署へ届出が必要
です。また、森林の周囲（キヨロの範
囲で火入れをする場合は、10日前ま
でに森林保全課へ申請が必要です。

地震による火災対策に

感震ブレーカーが効果的です

地震発生時には、地震の揺れに伴
う電気機器からの出火や、停電が復
旧した時に火災が発生しています。



地震による電気火災には、地震を
感知すると自動的にブレーカーを落
として電気を止める感震ブレーカー
が効果的です。感震ブレーカーを設
置して家と地域を守りましょう。

住宅用火災警報器の設置と点検

住宅火災による全国の死者は年間
千人を超えています。その7割以上
が65歳以上で、「逃げ遅れ」が主な
原因です。火災の早期発見のため
も、住宅用火災警報器の設置と点検
をお願いします。

幼年消防クラブ所属園児が描く

「ちびっこ絵画展」開催

火災予防運動期間中、イオンモ
ール都城駅前で、火
の用心をテーマに
園児が描いた絵画
を展示し、火災予
防啓発を行います。

助かる命を助ける！

正しい119番通報をお願いします

119番通報は突然のことなので誰でも慌ててしまうものです。誤った情
報や早口の通報では、どこで・誰が・どんな状況か分からないため、消防車や
救急車の到着、対応が遅れてしまいます。迅速な出動やスムーズな現場活動
につなげるため、正確な通報に協力ください。

◎問い合わせ 消防局総務課 ☎22-8882

119番通報のポイント

①自分の安全を確かめる

通報者本人が火事や事故に巻き込
まれては元も子もありません。まず
は周辺を確認するなどして安全な場
所に移動しましょう。

②正確な場所を伝える

消防車や救急車の迅速な出動には、
正確な場所の特定が重要で
す。はっきりとした住所が
分からないときは、近くの
目標物を伝えてください。

③指令課員の質問に答える だけ

焦る気持ちを抑えて、指
令課員の質問に「ゆっくり・
正確に・はっきり」と答え
ることを意識しましょう。

「早く来て」で電話を切 らないで！

119番通報を受ける職

